



大正大学表現学部産学連携プロジェクト

「社会課題（食育）解決 PR 企画」最終選考会を開催しました

大正大学（学長：高橋秀裕、所在地：東京都豊島区）の表現文化学科アート&エンターテインメントワークコースの2年生62名が2021年度春学期「ワークショップI」（担当教員：外川智恵）の授業において、企業・団体（計6企業・団体）と共同で様々な社会課題の解決をエンターテインメントの力で模索しています。第1弾となる「食育」PR企画の最終発表会が6月15日（火）に対面・オンラインにて実施されました。今回は「学校給食」と「歯科」の両面から各方面で活躍する講師の協力の下、最終選考へ進出した各3名ずつ計6名が、自慢の企画を発表しました。

学生等は授業にて言語表現や視覚的効果等の基礎知識、また、問題発見・課題解決の思考力・技能を養い、独自の調査や実体験を交えるなどして立案した個性的で斬新なPR企画を堂々と提案。討議の結果「学校給食」と「歯科」にて各1名、合計2名が優秀賞に選ばれました。



授業の最後に講師（左から馬場先生、峯島先生、大槻先生）にお礼を伝える外川智恵准教授

【本件のポイント】

- ① 社会問題に対して当事者意識を持ち、社会課題の解決に自らの学びを結びつける PBL での取り組みです
- ② 大学生ならではの着眼点が「社会問題解決」に貢献し、企業とビジネスパートナーとして活躍する時代の先駆けとなる取り組みです
- ③ オンラインと対面講義のハイブリッド形式で展開することで新たな大学講義のあり方を模索しました

【概要】

内 容：「社会課題（食育）解決 PR 企画」プレゼン大会 最終選考会

発表形式：オンライン「ZOOM」と対面授業のハイブリッド方式で開催

審査員：（認定NPO 法人21世紀構想研究会）馬場錬成先生・峯島朋子先生
 （新橋烏森通り歯科（大槻臨床研究所））大槻武司先生



優秀賞受賞者：・「学校給食部門」舞島亜海さん：「歌」を通して「給食」と繋がる

＜講評＞

「本来の楽しい給食の姿を蘇らせる素晴らしい企画。自身の給食に対する実体験をもとに試行錯誤されている、早速ホームページに「給食の歌」の応募ページを作成したい。」

・「歯科部門」梅本月音さん：ダイエットと食育

＜講評＞

「ダイエットとトレーニングに重要な食事の知識を上手く利用している。健康寿命の延伸に取り組む国家の重要政策とも重なり、社会全体の課題解決につながる。今後の可能性に期待したい。」

＜協力企業・団体＞

■認定NPO法人21世紀構想研究会

知的基盤の強固な研究現場と産業振興の技術革新を実現し、真の科学技術創造立国の確立を目的として活動を展開。

目標：学校給食や社会との連携の重要性を十分に伝えるPR方法の確立。

■新橋烏森通り歯科（大槻臨床研究所）

口腔内環境や生活習慣の重要性を専門的な言葉を使わずに広く周知する活動を展開。

目標：食習慣が健康保持に及ぼす影響を社会に伝え、食習慣の大切さ、口腔内環境の重要性を訴えるPR方法の確立。

◆表現学部表現文化学科アート&エンターテインメントワークコース

パフォーマンスアート（舞台芸術）、ファインアート、アミューズメントビジネス、ミュージアム、メディア業界、音楽ライブビジネスなど「人々に幸せな時間を提供し、自分も幸せを感じる」ようなエンターテインメントに関わるプロデューサーやマネージャーを育成しています。

チームの一員として何が必要とされ、どう行動すべきかを考え、さらに知的財産権、マーケティング、広報などの知識を学び、センスを磨くことで、業界の枠を超えて広く社会で活躍する能力を養います。

◆大正大学

大正大学は、設立四宗派の天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗および時宗が協働して運営する大学です。その協働の精神を支えているのが、大正15年（1926）の創立時に本学が掲げた、「智慧と慈悲の実践」という建学の理念です。建学の理念のもとに〈慈悲・自灯明・中道・共生〉という仏教精神に根ざした教育ビジョン「4つの人となる」を掲げて教育研究の活動を展開しています。また、令和2年度文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」に本学が推進する「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」が採択されました。公式HP：<https://www.tais.ac.jp/>

令和2年度
文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択校

「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」 大正大学

■取材に関するお問い合わせ

大正大学 総合政策・広報課 志村

電話：03-5394-3025（直通）FAX：03-5394-3068

E-mail：kouhou@mail.tais.ac.jp